

楽桜会会報

奈良教育大学音楽専攻者同窓会

第15号



表紙のことば
亀田謙治 (S40)

東大寺大仏殿前の 燈籠奏楽天人

東大寺大仏殿の前庭に丈余の銅灯籠があります。天平当時の遺品で勿論国宝です。

この灯籠の火舎の各面はいずれも菱格子を透かし彫りにしています。8面あるうちの4面を掲載しました。拍子とり、横笛、縦笛、笙です。

目次

ごあいさつ・ご案内・役員等……………	2
会計決算報告・総会に参加して…………	3
恩師からのお便り・ がんばってまーす……………	4

恩師を偲んで……………	5
演奏委員会より・催しのご案内・ 事務局だより……………	6



ごあいさつ

前会長 松原さおり

みなさまにはご機嫌よろしくいらしゃいますことと拝察申し上げます。いつも「楽桜会」をご支援いただきまして、ありがとうございます。

ございます。

昭和61年に奈良教育大学音楽専攻者同窓会「楽桜会」が設立されてから33年が経ちました。当時の事を思い出しますと感慨深いことしきりです。「奈良教育大学音楽専攻者同窓会」という名称では堅苦しいので、愛称をということになり、設立準備委員会のメンバーが提案した中から生まれ出て来たのが「楽桜会」でした。

学舎の、広々とした敷地に桜と楓が贅沢に植えられた環境は素晴らしいものでした。特に音楽棟へは、正面を入ってから5分ほど坂を上っていくのですが、どこを通っても桜と楓の間を抜けて、春には花の雲を目指して天空に向かっていくような気分でしたから、「楽桜会」という愛称が誕生するのも当然のことだったでしょう。私は年を追うほどこの名称が素晴らしいと思うようになりました。遠くの山に桜が咲いている時、下の川に花吹雪と散っていく時、駅のホームの対岸に桜並木が満開の時、集落のあの家にもこの家にも見事な枝ぶりの桜が咲いている時、「楽桜会」はいい名前だと心満ち足りるのです。そして、会費を振り込んで下さい、寄付をお願いしますと無粋な事ばかりを会報に印字してきた自分がみじめになるのです。こんなことは若者に押し付けて、年寄りをもって夢の世界でしみじみ花を愛で、ひたひたと寄り来るミューズの波に足を浸して微笑みたくなりました。

いただいたご厚情に深く感謝してわがままをお許しください。ありがとうございました。



ごあいさつ

会長 ^{やま}瀬 ^{まさ}真美

今回楽桜会会長を拝命いたしました山瀬真美です。

あまりに突然のことで考えもせず二つ返事で引き受けたもの

の、本当に私でいいのか、小西先生をはじめ、吉田先生や松原前会長の後任としてふさわしいのか、軽々しく返事をしなければよかった、と後悔しきりでしたが、返事をさせて頂いた限りは満了まで責任を果たすべく精一杯させていただきますので、皆様の強力な協力もよろしくお願い申し上げます。

さて、先日の総会でも問題になっておりました運営費の問題ですが、現在会費が終身会費の1万円と寄付金を基本に運営しているということで、このままでは近い将来会としての運営が困難な状況になるのは必至であります。

本来ならば毎年卒業生の本会への加入分が収入となるのですが、残念ながら年々減少していることに原因があります。以前よりそのことは懸案事項としていつも上がっておりましたし、皆さんからもご意見を頂きましたが結局現状維持というところに落ち着いてきました。

しかしながら当然楽桜会の活動にも影響が及んできておりますし、先述した通りことは会の存続にかかわる問題ですので、卒業生はもとより現役学生や大学側と本会への理解と協力を求めるべく、真摯に話し合っていかなければならないと思っております。

さて、固い話はここまで。

楽桜会は気兼ねなく、みんなでワイワイ言いながら音楽を楽しみ旧交を深める、そんな会ですとありたいと思っていますので、皆さん、これからもうつまでも明るく！元気に！楽しく！で、よろしくお願い致します。

令和元・2年度 役員及び所属委員会

顧問	小西 泰彦 (S28)	理事	亀田 譲治 (S40)
	吉田 峰一 (S32)		北浦朝太郎 (S41)
会長	山瀬 真美 (S51)		寺川 悦子 (S48)
副会長	島崎 始子 (S40)		富井 文 (S50)
	佐竹 司郎 (S41)		小泉 悟 (S50)
会計	吉田 和美 (S47)		飯田実穂子 (S56)
	廣瀬佐和子 (S50)		瀬古まゆみ (H17)
監事	吉村紀代子 (S44)	事務局長	武村 恵美 (S47)
	山村 和子 (S44)	事務局次長	喜多 園子 (S30)
理事	谷村多恵子 (S35)		中川 和子 (S41)
	松原さおり (S39)		

は広報委員会

は演奏会委員会

総会のご案内

2021年 楽桜会総会

と き 2021年6月6日(日)午前10時30分より
ところ ホテル アジュール奈良
総会終了後 懇親会



楽桜会 会計決算報告書

自 平成29年4月1日～至 平成31年3月31日

【収入の部】

(△は減額：円)

科 目	予算額	決算額	増減 (予算-決算)	摘要
前年度よりの繰越金	1,475,028	1,475,028	0	
終身会費	200,000	99,230	△100,770	10人
寄付金		348,260	348,260	のべ111人
雑収入		22,588	22,588	親睦会残金
利息	1,000	22	▽978	
収入合計	1,676,028	1,945,128	269,100	

【支出の部】

(円)

科 目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	10,000	2,520	7,480	会議室借料
事業費	200,000	171,322	28,678	楽桜会コンサート
会報発行費	420,000	413,038	6,962	会報13,14号送料込
通信費	100,000	104,989	△4,989	ハガキ、切手、封筒
慶弔費	40,000	85,100	△45,100	大学への花代等
事務費	15,000	10,337	4,663	紙、インク、コピー代
予備費	50,000	0	50,000	
振込手数料	2,000	0	2,000	
小計	837,000	787,306	49,694	
次期繰越金	839,028	1,157,822	△318,794	
支出合計	1,676,028	1,945,128	△269,100	

収入決算額	支出決算額	差し引き残額
1,945,128円	787,306円	1,157,822円

決算監査報告書

平成29年4月1日より平成31年3月31日までの楽桜会会計の収入支出決算内容について、平成31年4月30日に、帳簿及び関係書類の監査を実施し、使途や記載が適切に行われていたことを報告します。

平成31年4月30日 会計監査

吉村紀代子
山村和子

ご寄附いただいた方々 H30.5～H31.3

昭26～昭38卒

野口 恵子・藤岡 智子・宮西 輝夫・中尾 寛玄	浅名 正昌・富澤 修・喜多 園子・吉村 弘子
今西 入江・吉田 峰一・香美 秀文・遠藤 哲子	西嶋 時子・田邊修一郎・押谷 順子・谷村多恵子
中納 俊夫・河村 宣子・松村 隆雄・松村 典代	大矢 壽子・丸矢 聡子・北浦 敏子

昭39～昭63卒

松原さおり・寺内 皖子・吉井 邦彦・島崎 始子	亀田 謙治・奥野 捷子・池中 洋子・安達寿嘉子
成美 寿子・田丸かよ子・柳生れい子・石井知恵子	小川 豊子・赤沢 重代・武村 恵美・吉田 和美
東谷 和代・宅 敏子・寺川 悦子・森本 玉枝	富井 文・廣瀬佐和子・山本 妙子・居郷 弘子
長尾 祐子	

平成元卒～

上本美美子

合計 49名 135,170円

楽桜会総会・懇親会に参加して

田辺 浩 (H1修)



平成から令和になった6月2日、奈良教育大学音楽科専攻者同窓会(楽桜会)総会が会員30名あまりの参加を得てホテルアジュールを会場に開催されました。会は佐竹司郎氏(S41)による開会の挨拶、つづいて、喜多園子女史(S30)を議長に選出。事務局の武村恵美女史(S47)から事業報告や事業計画などが行われました。松原さおり前会長(S39)から新役員候補の紹介があり、承認されました。新会長には山瀬真美氏(S51)が就任されました。

次に佐竹司郎氏指揮、島崎始子女史(S40)伴奏で『学歌』と『奈良千年』を合唱しました。ソロは山瀬真美氏、飯田実穂子女史(S56)でした。

『奈良千年』は私がちょうど1回生のときに広藤孝先生のご退官記念で、4回生のときに牧野英三先生のご退官記念で歌った曲です。同窓会で歌うたびに、いつも思うことがあります。「同じ釜の飯を食べた…」という言い回しがありますが、この曲を歌う同窓生は、まさにそのような仲間だということです。家族のような安心感の中で歌えることができるのは、幸せなことだと感じています。

宴席では吉田峰一氏(S32)の乾杯発声に始まり、なごやかな雰囲気の中、旧交をあたため合い、親睦を深め合っていました。勉学や音楽の練習などに、かなり不真面目であった私の学生時代のエピソードは、宴会の際、同期の同窓生に白日の下にさらされ、宴席テーブルの笑顔に貢献することとなりました。

宴席は若い世代代表ということで越尾直美女史(H2)の言葉でお開きとなりました。今年度から令和年代の同窓生が加わることに、時の流れの速さを改めて感じています。教員生活の残り時間を意識するようになりましたが、若い世代の教員、あるいは教員を目指す同窓生に、少しでもアドバイスすることができたらいいな、と思う今日この頃です。



2019 06 02



恩師からのお便り

斉藤 正家 先生

私、斉藤正家は、今年4月で91歳と4ヵ月になりました。奈良学芸大学での在任期間は4年3ヵ月で文部教官助手でした。諸先輩の先生方はとても素晴らしい先生方でやさしく、学生の皆さんは積極的に賢く、クラス授業は非常に楽しく、感謝の気持ちで一杯です。私が京都にお伺いしたのはもう一つ理由がありました。京都におられた、芸大で同級の五十嵐喜芳君の先生が、ミラノで6年ばかり声楽を勉強された方でした。その先生に指導を受けました。その頃、NHKがイタリアオペラを招へいしましたが、世界の一流の歌手という贅沢な配役が、大変な話題になりました。また60年程前に戻りますが、当時の日本は今のよう自由外国に行けなかったのです。外務省の留学生試験を受けて、やっと1963年

5月にローマに行くことができました。

ローマでも指導の先生により、いろいろ方法があるようです。私も残りわずかの人生ですが、欧米にかぶれることなく、日本歌曲のベルカントは如何にあるべきかを考えねばと思っています。

楽桜会と合唱団のご発展をお祈り申し上げます。

●プロフィール

- ▶1956年東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同年、京都華頂女子高校教諭、兼女子短大講師、1959年奈良学芸大学文部教官助手。
- ▶1963年より66年までイタリア（ローマ）留学。
- ▶1964年ローマ国立サンタ・チェチーリア音楽学院外人コース修了。カバレリア・ルスティカーナ、フィガロの結婚、蝶々夫人等オペラに出演。天地創造・フランクのミサ曲・フォーレのレクイエム等ソリストとして出演。
- ▶独唱会6回、オーケストラによるオペラアリアコンサート10回、その他グループとのコンサート50数回、2008年、家永ヴォーカルコンサートに出演。元東京純心女子短大音楽科教授。
- ▶故石津健一、ジョルジョ・ファバレット、アキール・ブラスキー、大谷洸子の各氏に師事。



がんばってま〜す

音楽と共に

杉浦 佐知子 (H30修)

大学院を修了して1年になりました。奈良で先生方にお世話になったこと、先輩や後輩、仲間たちから刺激を受けて過ごした日々をなつかしく思います。

大学時代にあらためて自分が音楽を好きなこと、そしてピアノをもっと続けたいと思っていることに気付くことができました。

昨秋には楽桜会コンサートに出演させていただきました。

ました。伝統のある秋篠音楽堂は響きがすばらしく、人前で演奏する機会がない私にはとても貴重な経験となりました。実はこの舞台で、学生時代に在籍していた奈良交響楽団の弦楽アンサンブルでブランデンブルク協奏曲を演奏したことがあり、ホールの雰囲気や響きが良く、いつかここでピアノを弾いてみたいと思っていたのです。

現在は地元に戻って音楽教室の講師をしています。ピアノだけでなくエレクトーンも教えているので、発表会に向けて悪戦苦闘しています。子どもたちに音楽の楽しさを伝えたいです。年に1、2回コンクールにも挑戦しています。今後も音楽活動が続けていきたいと思っています。

第5回 楽桜会コンサートに出演して



『癖は臭うが個性は香る』

峯本 大地 (H22修)

師に教えて頂き、学生時代から常に心に留めていた言葉です。

慢心して必要な努力を怠れば、聴いていられないような『癖』の

ある臭い演奏となり、頭を垂れながら謙虚な姿勢で励めば、いずれ『個性』香る演奏となる。

前者ではないだろうかという不安と後者への憧れを抱きつつ、『臭っていないか、香るような準備をしてきたか』と、楽桜会に出演させて頂いた時も、

心の中で何度も問うていました。

結局、香る様な演奏はまだ出来ておりませんが、師の教えは個性香る音楽家の方々に巡り合わせて下さいました。

そういった演奏家の方々は素晴らしい演奏をするだけではなく、時に共演者さえも輝かせ、必要とあらば裏方もこなし、その日の舞台に何が必要かを真剣に思案していました。

『音楽とは本来、心を豊かにするものである。』そんな事も、彼らの姿勢から説得力を持って再確認するのです。

いつか私自身、少しでも香る『個性』を身に付けた時、またこの舞台に挑戦させて頂けたらと願っています。

恩師を偲んで

廣藤 孝 先生
平成31年2月12日ご逝去



中西 久子 (S31)



私が大渕先生（廣藤先生の旧姓）の門を叩いたのは約65年も前の事でしょうか。昭和29年頃だったと思います。先生は我が家からわずか1、2分の所にお住まいだったのです。奈良女高師の声楽の先生であり、奈良学芸大学にもご指導に来られ、なおラジオ出演もされている、まさに第一線でご活躍中の先生であるにも関わらず、常に真摯で厳しくも温かく生徒たちに接して下さいました。

初レッスンで圧倒されたのは、まず6帖の間に

グランドピアノがどっかりと腰を据え、羽を広げたように鎮座しているではありませんか。私を迎えて下さった先生は勿論まだお若く、万葉集の女流歌人、額田王や、坂上郎女を思わせるほどに上品でありながらも情熱を秘めたお姿に胸が熱くなりました。それは先生がどれほど、音楽を深く愛しておられたか、歌に生きてこられたかが私にも伝わってきたのです。しかも、すべての教え子にその愛と情熱を注いでくださいました。

教えを受けた弟子達は皆、生涯、先生をお慕いせずにはいられない魅力あふれる方だったのです。こんなお婆さんになった私が今なお歌を愛してやまないのは、大渕先生のお教えの道をわずかでも歩ませていただいたからにほかなりません。

先生、そちらの世界でも、ふるさと山形の紅花を胸に皆様々にクラシックのすそ野を広げようと歌っておられることでしょう。歌うことの大きな喜びと幸せをいただき、本当に、本当にありがとうございました。

石崎一夫 先生
平成31年2月24日ご逝去



三笠 育子 (S63)



いつも穏やかに笑顔で私たちに接してくださっていた石崎先生でした。在学中も卒業後も変わらない先生に安らぎをいただいていた。

思い出は様々な講義（多分、合奏とか和声学とかでした）やクラブ活動（ウインドアンサンブル）でたくさんあります。いつもにこやかで、温かく指導してくださっていました。合奏では、「来んもん（顧問）の石崎です。」とまず私たちにおっしゃって、合奏が始まり、基礎からやさしく丁寧に楽しい話を織り交ぜながら指導して下さいました。

2016年11月には、「石崎一夫先生喜寿お祝い会」

に参加させていただき、諸先輩方と同席して、先生のご健康をお祝いできたことが楽しい思い出となっています。奈良教育大学で縁があって石崎先生にご指導いただいた方々との楽しいひと時でした。先生の人柄があつての和やかな楽しい会でした。先生と一緒に写真を撮ろうと長蛇の列ができていました。

また、同じ年にウインドアンサンブルの定期演奏会でOBとして石崎先生の指揮でステージに立つことができました。この時も、たくさんのOBが石崎先生の指揮で演奏できると聞いて遠方からも忙しい時間を縫って参加していました。私も初めてサックスで参加させていただきました。曲目は「オセロ」と「星条旗よ永遠なれ」。久しぶりのステージで緊張しましたが、石崎先生の指揮で楽しく演奏に参加させていただき、思い出に残る一日となりました。私も中学校で吹奏楽の指導に携わっていた関係で、いろいろな「星条旗」を聴く機会がありましたが、やはり石崎先生の「星条旗」が一番好きです。いつまでもいつまでも私たちの心の中には「石崎先生の星条旗」が永遠に残ることでしょう。

演奏会委員会からの報告

昨年10月21日(日)午後2時より、奈良市の秋篠音楽堂において「第5回楽桜会コンサート」が開催されました。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 ピアノ独奏 | 杉浦佐知子(H30修) |
| 2 ソプラノ独唱 | 平山 麻衣(H14) |
| | ピアノ 上本芙美子(H14) |
| 3 ソプラノ独唱 | 小西 綾子(H23) |
| | ピアノ 山下 瑠子(H23) |
| 4 カウンターテナー独唱 | 峯本 大地(H22修) |
| | ピアノ 谷林 朋香(H26修) |
| 5 ピアノ独奏 | 上本芙美子(H14) |
| 6 ソプラノ独唱 | 白島 晶(H10) |
| | ピアノ 児玉 浩美(H5修) |
| 7 ピアノ独奏 | 増村 里美(H26修) |
| 8 ソプラノ独唱 | 高野 真弓(H9修) |
| | ピアノ 水谷 礼佳(H28修) |
| 9 混声合唱 | 楽桜混声合唱団 |

卒業後も頑張って勉強している会員にステージを提供して応援する楽桜会コンサート、今回も多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。

第6回 楽桜会コンサート出演について

「第6回楽桜会コンサート」を開催いたします。つきましては出演者を募集します。ご希望の方は事務局までお問合せください。

ご応募をお待ちしています。

- ▶ 日 時 令和2年10月25日(日) 午後2時 開演
- ▶ 場 所 秋篠音楽堂(近鉄大和西大寺北口下車徒歩3分ならファミリー6階)
- ▶ 入場料 1,000円
- ▶ 演奏形態 声楽ソロ・デュオ・アンサンブル
器楽ソロ・デュオ・アンサンブル
- ▶ 出演協力費
1プログラムにつき10分以内で10,000円
(但し1枚1,000円のチケットを15枚差し上げます)

楽桜混声合唱団にご参加ください!!

平成21年12月結成されて10年目、佐竹司郎さん指導の下、原則第2、第4日曜日午後1時半～午後3時半ごろまで奈良市中部公民館で練習しています。年間3度はコンサート等に出演し、活発に活動しています。ただ、男声が不足して混声三部合唱にせざるを得ない時もあります。

男性会員の皆さん!月に2回程度の練習です。お忙しい中、時間を見つけてぜひ参加してください。

ご 逝 去

- | | |
|------------|-----------|
| 石田 誠宏(S42) | H29年5月 |
| 田邊 壽彦(S28) | H30年3月10日 |
| 廣藤 孝 | H31年2月12日 |
| 石崎 一夫 | H31年2月24日 |



催しのご案内

◆「木村能里子声楽公開レッスンとミニコンサート」

- ▶ 出演 木村 能里子(ソプラノ)
(ドイツ ヴァイマルフルンツ・リスト音楽大学講師)
- ▶ 日時 2019年9月8日(日) 午後1時30分開演
- ▶ 場所 学園前ホール(近鉄学園前駅下車 西部会館3F)
- ▶ 料金 前売り2,000円 当日2,500円
- ▶ 主催 MUSICAL BOX (ミュージカルボックス)
- ▶ 問合せ・チケット 武村恵美(S47) TEL 0742-37-2587
事務局 E-mail: musicalbox.t2@leto.eonet.ne.jp

◆「第7回 ブリリアントコンサート」

- 声楽・器楽ソロ、合唱などをお楽しみください。
- ▶ 日時 2020年2月24日(祝) 午後2時開演
- ▶ 場所 秋篠音楽堂(近鉄大和西大寺駅下車北口3分近鉄百貨店6F)
- ▶ 料金 前売り・当日共1,000円
- ▶ 主催 MUSICAL BOX (ミュージカルボックス)
- ▶ 問合せ・チケット 武村恵美(S47) TEL 0742-37-2587
事務局 E-mail: musicalbox.t2@leto.eonet.ne.jp

事務局だより

令和元年・2年度の楽桜会総会は、6月2日(日)ホテル・アジュール奈良に於いて34名の出席をいただき開催されました。

今年度、会員数は、1100名を越えました。住所不明、ご逝去の方を除き890通の往復ハガキを投函しましたところ、58%の方からお返事をいただきました。その中で昭和20年代卒業の大先輩11名からいただいたハガキには、高齢で車椅子の生活をされたり、病院通いの様子を書いていただいていたたり、もう連絡は不要とされていたり。私は、お返事いただいただけで嬉しいのです。ご迷惑でなければ、総会のお誘いはもうせずに、会報だけでも送らせてください。若い後輩たちが、奈良教育大で学んだおかげで生き生きと活躍している様子を是非ご覧いただきたいのです。(武村)

編集後記

「楽桜会会報」第15号をお届けします。広報委員全員で楽しさと情報を求めて編集しています。令和の時代になり、平成生まれの卒業生の方々の活躍が中心となって参りました。11号より掲載しています「恩師からのお便り」は5年目に入ります。この記事、なかなか好評です。先生方に大変お世話になり感謝いたします。

皆様の活動は「楽桜会」の発展につながります。合唱・コンサート・総会にお顔を見せて下さい。お待ちしております。

令和元年6月30日発行
奈良教育大学音楽専攻者同窓会
「楽桜会会報」第15号

発行所 楽桜会事務局 〒630-8434 奈良市山町98 武村方
Tel&Fax 0742(37)2587
編集・発行 楽桜会広報委員会 E-mail: musicalbox.t2@leto.eonet.ne.jp
印刷所 関西印刷株式会社 〒630-8281 奈良市南半田町19-20番地

楽桜会ホームページ
QRコード

